

令和5年度の委員会運営方法について

1 付議事件

減災及び防災対策の推進に関すること。

(参考：過去の特別委員会における調査・研究テーマ)

年度	調査・研究テーマ
令和4年度	テクノロジーやデジタル技術を活用した減災・防災対策の推進について
令和3年度	自助意識の向上を通じた命を守るための取組について
令和2年度	令和元年度の風水害等を踏まえた避難対策

2 市会運営委員会（平成24年5月8日開催）での特別委員会運営方法に関する決定事項

- ・付議事件の調査・研究を目的として、委員間の意見交換、事例視察や参考人意見聴取などを行う。
- ・委員会報告書は、付議事件に対する結論や一定の方向性を得たとき又は議員任期が満了するときに議長に提出するものとする。

3 令和5年度調査・研究テーマ案

関東大震災から100年を契機に考える災害弱者を守る取組について

(テーマ選定理由)

地震などの災害の際には、「私たちの命は私たちが守る」ことが重要であり、そのためには、一人ひとりの事前準備と住民相互の助け合いの取組が不可欠である。

しかし、災害が起きた時、高齢者や障害者、乳幼児、妊産婦、外国人など何らかの支援が必要な人たちが災害から身を守るためには、本人、家族などによる十分な事前準備、周りの人たちによる安否確認、避難支援などの手助け、行政からの情報提供、避難場所でのプライバシー等の配慮が、より一層必要である。

災害弱者には心身の状態により周囲のサポートが必要な人もいれば、必要な情報が提供されれば適切に行動できる人もおり、対象者に合わせて取組を進めていくことが求められる。

今年が関東大震災から100年の節目である。近年、首都直下地震や南海トラフ地震の発生も高い確率で予測されるなど、大地震への備えは喫緊の課題である。100年前と現在との状況の違いを考慮し、災害に備える必要もある。

そこで、今年度は災害弱者の自助・共助を推進するため、「関東大震災から100年を契機に考える災害弱者を守る取組について」というテーマで調査・研究を行うこととした。